

## MEDIA RELEASE

For immediate release

### ESR、MCUDI との物流施設開発パートナーシップを拡大し、 インドネシアにおいて約 8,000 万米ドル規模の物流倉庫開発へ

- ジャカルタ都市圏における、グレード A の物流・産業施設 2 棟を開発する広域的な戦略的パートナーシップの第 2 フェーズへ移行



ESR と MCUDI は、インドネシア・カラワンにおける新たな物流施設を着工。  
同国における戦略的パートナーシップを次の段階へ進める。

**シンガポール/ジャカルタ、2026 年 7 月 7 日** - アジア太平洋地域に特化したアセットオーナー兼アセットマネージャーの ESR と、三菱商事株式会社の 100%子会社でインドネシアにおける不動産開発で実績を有する PT MC Urban Development Indonesia(以下「MCUDI」)は、ジャカルタ都市圏においてグレード A の物流・産業施設 2 棟を共同開発する契約を締結しました。

本パートナーシップにより、インドネシアでも特に成熟し需要の高い工業エリアであるカラワン及びチカランにおいて、総資産価値 8,000 万米ドル超を見込むグレード A の物流・産業施設 2 棟を開発します。両社はそれぞれの強みを活かし、資産価値の最大化を目指します。建設は既に開始しており、2027 年第 3 四半期の竣工を予定しています。

本件は、ESR と MCUDI によるインドネシアにおける戦略的パートナーシップの第 2 フェーズにあたり、第 1 フェーズである Karawang Logistics Park1 及び Cikarang Logistics Park1,2 の 3 件の既存プロジェクトの開発・リーシングの成功を基盤としています。

両施設は、日本の施工会社により設計・建設され、ESR 及び MCUDI の品質基準を満たす仕様となります。最新の防火設備や耐震設計に加え、LED 照明、FRP 採光パネル、太陽光パネル設置を見据えた設計などのサステナブルな要素を導入します。また、従業員を中心とした設計コンセプトを採用し、省エネルギー化と就労環境の向上を両立します。

ESR 東南アジア責任者のジャイ・ミルプリは次のように述べています。

「本投資は、需要の可視性が高く、パートナーとの強固な連携を確立している APAC 市場にフォーカスした ESR のアセットライト戦略を体現するものです。初期プロジェクトの成功を受け、供給が制約されているジャカルタ都市圏の戦略的立地において、機関投資家向け物流・産業施設の開発をさらに拡大していきます。MCUDI とのパートナーシップを深化させ、物流・製造・サプライチェーン分野の顧客の高度化するニーズに応える高品質なアセットを提供していきます。」

また、MCUDI 社次期プレジデント・ディレクターの中島英明氏は次のように述べています。

「インドネシアにおける物流倉庫開発事業において、ESR との更なる協業及び投資拡大を大変嬉しく思います。当社のインドネシアでの開発実績、日本で培ったノウハウとネットワーク、そして ESR のファンドマネジメント力及び開発力を組み合わせることで、ジャカルタ都市圏のグローバル企業及び国内企業双方の進化するニーズに応える高品質なアセットを提供できると確信しています。」

Karawang Logistics and Industrial Hub は、スルヤチプタ工業団地内の約 10 万平方メートルの土地に開発される 3 棟構成の平屋建てグレード A 施設です。賃貸面積は約 6 万 3,000 平方メートルを予定しており、グローバルの 3PL 事業者や製造業者の需要に対応します。同施設はジャカルタ・チカンペック高速道路へのアクセスが容易で、将来的にはジャカルタ・チカンペック第 2 南高速道路との接続により更なる交通利便性の向上が見込まれています。

Cikarang Logistics and Industrial Hub は、ジャバベカ工業団地内に位置し、約 6 万 8,000 平方メートルの土地に建設される 2 棟構成の平屋建てグレード A 施設です。賃貸面積は約 4 万 8,000 平方メートルを予定しており、物流、e コマース、製造業者の顧客に対応します。ジャカルタ・チカンペック高速道路への優れたアクセスにより、広域的な輸送ネットワークを確保しています。

###

---

## ESR について

ESR は、デジタル経済とサプライチェーンを支える物流不動産及びデータセンターに特化した、アジア太平洋地域を代表する実物資産のアセットオーナー兼アセットマネージャーです。当社は、日本、中国、韓国、インド、東南アジア諸国、オーストラリア、ニュージーランド、ヨーロッパにおいて、時代の変化を先取りした最先端の不動産市場を提供しています。ファンドのマネジメントと開発の完全一体型プラットフォームを通じて、投資家の皆様のグローバルなポートフォリオに価値と成長機会を創出します。また、「持続可能な未来のための空間と投資のソリューション」というパーパスのもと、お客様、株主、地域社会などすべてのステークホルダーに対して長期的な利益の成長を目指しています。詳細は [www.esr.com](http://www.esr.com) をご覧ください。

## PT MC Urban Development Indonesia (MCUDI) について

PT MC Urban Development Indonesia (MCUDI) は、三菱商事株式会社の 100%子会社であり、インドネシアにおける不動産開発事業を展開しています。三菱商事は 2015 年に同国の不動産市場へ参入し、以降、信頼できるパートナーとともにジャカルタ都市圏を中心に、住宅・都市開発及び産業・物流施設開発に取り組んできました。インドネシアを戦略的かつ成長性の高い市場と位置付け、2021 年 4 月に MCUDI を設立。持続可能で革新的な開発を通じて、インドネシアにおける経済発展への貢献と生活の質の向上を目指しています。三菱商事は、多様な産業分野において事業開発・運営を行う総合商社であり、世界 76 カ国に拠点を有し、約 1,200 社のグループ会社ネットワークを展開しています。詳細は [www.mcup-id.com](http://www.mcup-id.com) をご覧ください。

---

## 本リリースに関するお問い合わせ先

### ESR 株式会社

マーケティング&コミュニケーションズ：ディレクター

齊藤陽一郎

Tel: 03-4578-7134

[jpn\\_pr@esr.com](mailto:jpn_pr@esr.com)

### ESR 広報代理 (CDR)

[ESRAsia@cdrconsultancy.com](mailto:ESRAsia@cdrconsultancy.com)

---